Ube
宇部IECA会報
International Cooperative Environmental Association Report
Ube IECA Report

発行
宇部環境国際協力協会
No. 15
2013.5.

インドネシアブンカリス県研修員は交流ボランティアの方々と広島平和記念資料館、原爆ドームを見学し平和の大切さを実感しました。その後、世界遺産の宮島厳島神社を見学し、神殿造りの建築美、宮島厳島神社のシンボルで、海上に立つ朱色の大鳥居に研修員は感動しました。

協会設立15周年にあたって

本協会は、宇部市が平成９年７月に国連環境計画 UNEP より「グローバル 500 賞」を受賞した翌年の平成 10 年８月に、多くの企業、大学、行政、市民のご理解をいただいて設立されました。その後、産・官・学・民の話し合いによる公害対策「宇部方式」を発展途上国に伝える役割を果たしてまいりましたが、今年８月には 15 周年を迎えます。

「宇部方式」の評価は、1950 年代に宇部市が経験した激しい煤塵公害を産官学民が一体になって解決したことによっていますが、本協会は設立当初より、宇部方式の精神としくみ、市の環境政策、企業の環境保全技術、研究機関の環境研究等について開発途上国の環境保全に携わる方々に伝えることを期待されてまいりました。

これまで、JICA 草の根技術協力事業として、ペルー共和国より９名、中国威海市より 13 名、中国安順市より 16 名、インドネシアブンカリス県から８名の研修員を受け入れました。また CLAIR 自治体国際協力促進事業としてフィリピンから４名の研修員を受け入れました。さらに昨年度は、山口大学を通じ中国貴州省より 19 名の研修員を受け入れいたしました。

一方、JICA 青年研修事業として、国づくりを担う青年リーダーに「宇部方式」による環境保全の理解を深め

ていただくために、フィリピン青年 23 名、中国青年 19 名、マレーシア青年 44 名、ラオス青年 11 名の研修員を受け入れいたしました。

これまで受入れた研修員は短期研修を含め合わせて 44 ケ国 498 名になり、「宇部方式」と宇部の環境技術がこれらの国々の環境改善に貢献し、また民間外交として国際親善にも寄与していることを確信しております。

同時に最近は、途上国の関心も産業公害対策から、ごみ問題や温暖化防止、森林保護まで範囲が拡がってきており、「宇部方式」も常に時代に応じた進化が求められていることも感じております。

この他、環境国際セミナー、環境保全技術講座等を開催し、市民の地球環境意識の啓発にも努めてまいりました。さらに「宇部の環境技術」日本語版、英語版、中国語版、韓国語版を発刊し、宇部市内企業の環境技術を紹介することにより、宇部の環境技術を世界に発信してまいりました。

これらは、いずれも会員の皆様、宇部市をはじめ、企業・大学・行政・市民の方々のご指導、ご協力の賜物であると、深く感謝しております。

今後も、ひきつづき、当協会の事業発展を目指し前進を続けていく所存であります。

会員の皆様の一層のご指導ご支援を重ねてお願い申し上げます。

理事長　浮 田 正 夫

協会設立11年～15年の歩み

協会の主な事業	年 度	
・協会設立 10 周年記念講演会（山根一眞氏） ・協会設立 10 周年記念「威海市訪問ツアー」 ・自治体国際協力促進事業「フィリピン共和国サンタロサ市における「宇部方式」の精神を活かした環境改善システム研修事業」フィリピンサンタロサ市研修（2名） ・JICA 青年研修事業中国研修（19 名） ・海外現地調査「JICA 市民参加協力事業（海外プログラム）」安順市 ・早稲田大学広東省人民政府代表団研修（34 名）	2008	10 周年記念講演会 威海市訪問ツアー サンタロサシ市研修 中国青年研修
・JICA 草の根技術協力事業「安順市における環境保全管理研修」（7名） ・自治体国際協力促進事業「フィリピン共和国サンタロサ市における「宇部方式」の精神を活かした環境改善システム研修事業」フィリピンサンタロサ市研修（2名） ・JICA 青年研修事業マレーシア研修（16 名） ・早稲田大学広東省佛山市南海区幹部職員研修（25 名）	2009	中国安順市研修 マレーシア青年研修 サンタロサ市研修
・JICA 草の根技術協力事業「安順市における環境保全管理研修（2年次）」（5名） ・JICA 草の根技術協力事業「安順市における環境保全管理研修）」専門家派遣（2名） ・JICA 青年研修事業マレーシア研修（13 名）	2010	中国安順市研修 マレーシア青年研修
・JICA 草の根技術協力事業「安順市における環境保全管理研修（3年次）」（4名） ・JICA 草の根技術協力事業「安順市における環境保全管理研修）」専門家派遣（2名） ・JICA 青年研修事業マレーシア研修（15 名） ・海外現地調査（インドネシアブンカリス県）	2011	中国安順市研修 マレーシア青年研修 中国安順市専門家派遣
・JICA 草の根技術協力事業「ブンカリス県における環境改善協力」研修（8名） ・JICA 草の根技術協力事業「ブンカリス県における環境改善協力」専門家派遣（2名） ・JICA 青年研修事業ラオス研修（11 名） ・山口大学中国貴州省研修（19 名）	2012	ブンカリス県研修 山大貴州省研修 ラオス青年研修

JICA草の根技術協力(地域提案型)「ブンカリス県における環境改善協力」1年次

インドネシアブンカリス県は、熱帯泥炭湿地林が残るスマトラ東北部にあり、石油の産出による経済開発が急速に進行しています。現在、生活環境改善と持続可能な自然保護をいかに進めるかが、大きな課題となっています。このような状況の下で、「宇部方式」の精神を活かしたブンカリス県環境基本計画の作成を通じて、ブンカリス県の環境管理の仕組みを強化します。平成24年度から3ヶ年計画でブンカリス県から研修員を受入れ「ブンカリス県における環境改善協力」研修を実施します。

本年度は初年次として環境・森林・土地・計画の行政部局や大学の指導者を研修員として8名受入れました。

■研修実施主体	JICA、宇部市、宇部環境国際協力協会	
■期　　間	平成25年2月10日～2月28日　19日間	
■研　修　員	ブルハヌディン	ブンカリス県事務局公行政部　行政補佐
	フザイニ	ブンカリス県環境局　局長
	イズマイル	プランテーション・森林サービス部　部長
	シャフリザン	ブンカリス県地域開発計画局インフラ部　部長
	リント	ブンカリス県地域開発計画局事務局データ・報告課　課長
	ラフィアニ	ブンカリス県研究開発・統計局　開発技術部技術課　課長
	ワン　ザリック	ブンカリス県事務局　土地部計画・土地使用課　課長
	ヌルディン　バシール	ブンカリス技術専門学校土木科　土木科主任
■研　修　先	宇部興産㈱、飯森木材㈱、㈱パワー・エンジニアリング・アンド・トレーニングサービス、宇部地区環境保全協議会、山口大学工学部、宇部フロンティア大学短期大学部、山口県、宇部市	

開講式

宇部市副市長を表敬訪問しました。

市民を前にカントリーレポートを発表しました。

研修風景

石炭記念館でかっての宇部の経済発展の原動力としての石炭について学びました。

宇部市の環境基本計画について学びました。

飯森木材㈱で木質系堆肥化システムを見学しました。

発電用、工業用水、農業用水、飲料原水として利用されている厚東川ダムを見学しました。

宇部市広瀬浄水場を見学しました。

リサイクルプラザを見学しました。

山口大学工学部で最新の GI 技術について学びました。

山口大学工学部で KJ 法による環境基本計画策定を実習しました。

中国電力㈱新小野田発電所で石炭専焼発電所の環境対策施設を見学しました。

閉会式

JICA 中国国際センターから修了証を受領しました。

ファイナルレポートを発表するフザイニさん。

JICA 青年研修事業（ラオス：都市環境管理コース）

ラオスの将来の国づくりを担う青年 11 名が環境行政分野の研修を受けました。研修では宇部市が経験した激甚な粉じん公害を「宇部方式」により問題解決した経験や市内企業、大学等の環境保全技術を学び、幅広い環境保全対策・技術を理解しました。さらに、日本の再生可能エネルギー（太陽光発電、風力発電、バイオマス発電、生ごみ発電）や宇部市の環境政策、環境保全対策について学びました。

- 研修実施主体　JICA、宇部市、宇部環境国際協力協会
- 期　　間　平成 25 年 1 月 17 日～1 月 29 日　13 日間
- 研　修　員　ラオス人民民主共和国、青年行政官及び技術者　11 名
- 研　修　先　宇部興産㈱、北九州市エコタウンセンター、おおき循環センター、㈱日田ウッドパワー、山口大学、宇部フロンティア大学、山口県、宇部市

開講式

副市長を表敬訪問しました。

ジョブレポートを発表しました。

研修風景

久保田市長から講話を聞きました。

宇部市の公害対策、宇部市環境審議会、環境保全協定について学びました。

宇部市広瀬浄水場を見学しました。

宇部興産㈱を見学しました。

ときわミュージアムを見学し環境教育の事例を学びました。

㈱日田ウッドパワーでバイオマス発電施設を見学しました。

交 流

市民と共に宗隣寺を視察し、交流を図るとともに日本文化を学びました。

閉講式

研修の集大成として市民、関係者に対しプログラムレポートを報告しました。

JICA 草の根技術協力（地域提案型）「ブンカリス県における環境改善協力」専門家派遣

「宇部方式」の精神を活かしたブンカリス県環境基本計画の作成を通じて、ブンカリス県の環境管理の仕組みを強化するため、平成 24 年度から 3 ヶ年計画で「ブンカリス県における環境改善協力」研修を実施します。

本年度は専門家を派遣し、（1）本プロジェクトの目的説明（PDM の内容説明、環境監視の体制説明）（2）ブンカリス県の環境基本計画の現状を調査、（3）環境審議会のブンカリス県での実現可能性の確認、（4）関連部署（ブンカリス高専、リアウ大学、リアウ州地域計画局、環境局、JICA ジャカルタ事務所、環境省）を訪問し情報交換しました。

- 専門家派遣先　インドネシアブンカリス県
- 研修実施主体　JICA、宇部市、宇部環境国際協力協会
- 期　　間　平成 25 年 1 月 5 日～1 月 12 日　8 日間
- 専　門　家　浮田正夫　山口大学名誉教授　宇部環境国際協力協会理事長
  榊原弘之　山口大学大学院理工学研究科　准教授

ブンカリス県長を訪問しました。

地域開発計画局で本プロジェクトについて協議しました。

海岸浸食の状況を視察しました。

環境省環境政策部イマム次長と情報交換しました。

山口大学中国貴州省環境教育・人材育成プログラム研修（第一回）

中国貴州省では近年多くの環境問題に直面しています。貴州省政府では山口大学と連携し環境行政や環境教育のための人材育成に取り組み始めました。本事業では、貴州省の環境行政や環境教育に携わる関係者が日本の先進的な環境行政の実情、環境教育システムや環境プロジェクトの管理に関するノウハウを習得するため、山口市周辺の環境行政の実情、産・官・学・民が協働する宇部市や北九州市の環境保全対策の状況、その他日本の特色ある環境プロジェクト施設を視察しました。

- 研修実施主体　山口大学、宇部環境国際協力協会
- 期　　間　平成 24 年 8 月 26 日～9 月 6 日　12 日間
- 研　修　員　中国貴州省行政官　19 名
- 研　修　先　椹野川漁業協働組合、道の駅「仁保の郷」、山口ふるさと伝承総合センター、北九州市エコタウンセンター、宇部興産㈱、山口県立きらら自然観察公園、美祢市立秋吉台科学博物館、滋賀県立琵琶湖博物館、東京都水再生センター、山口県、山口市、宇部市、山口大学

山口大学丸本学長を表敬訪問しました。

山口大学服部副学長から終了証書を受領しました。

その他研修員受け入れ

JICA 集団研修「大気汚染源管理」コース

研修実施主体：KITA（北九州国際技術協力協会）
期　　間：平成24年11月22日（１日間）
研　修　員：ベトナム、モンゴル、セネガル、ホンジュラス、
　　イラク、スリランカ　10名
研 修 視 察 先：宇部市

外務省キズナ強化プロジェクト

研修実施主体：山口大学
期　　間：平成24年12月13日（１日間）
研　修　員：スリランカ、ネパール、インド、アフガニスタン、
　　バングラデシュ、モルディブ　６名
研 修 視 察 先：宇部市

環境国際セミナーの開催

第１回環境国際セミナー

◇平成24年６月13日（水）（平成24年度総会後）
◇宇部市文化会館
共催：宇部市
演題：「安順市を対象とした環境保全管理研修の総括と
　　JICA草の根技術協力事業の今後の展開」
講師：山口大学名誉教授
　　宇部環境国際協力協会理事長　浮田正夫　氏

環境保全技術講座の開催

第1回

◇平成24年６月４日（月）
◇積水ハウス㈱山口工場、
　マツダ㈱防府工場西浦地区第一工場見学
後援：宇部市
自動車メーカーの革新的環境技術や住宅メーカーの環境配慮について理解を深めました。

第2回

◇平成25年２月４日（月）
◇宇部市文化会館
後援：宇部市
演題「カリマンタン（インドネシア）泥炭湿地の環境保全」
講師：山口大学大学院理工学研究科　准教授　山本浩一　氏

広報活動

平成24年6月25日～7月5日

宇部市役所玄関ホール

「JICA 草の根技術協力事業による取り組み」について国際環境協力パネル展を行いました。

平成24年11月18日（日）

宇部市ときわ公園

「エコフェア」でパネル展示を行いました。

交流ボランティアの活動

当協会交流ボランティアは研修員との交流を図ったり、日本文化、歴史の理解を図るため研修員のサポートをしました。

JICA 青年研修（ラオス）では宇部市宗隣寺、下関市しものせき水族館海響館を、また JICA インドネシアブンカリス県研修では広島平和記念資料館や宮島厳島神社を探訪し、交流しました。

ラオス研修員と宇部市宗隣寺を視察する交流ボランティア。

インドネシアブンカリス県研修員と宮島を視察する交流ボランティア。

平成24年度 総 会

平成24年6月13日（水）に開催し、前年度事業報告、新年度事業計画が審議、承認されました。

ボランティアのお願い

国際交流および技術支援のボランティアを募集しております。皆様方の事情に合ったボランティアを積極的に行っていただけませんでしょうか。

＜国際交流ボランティア＞

今後、海外から多数の研修生が、宇部市を訪れると思われます。外国語（英語、スペイン語、中国語等）の会話が可能な方で、休日のホームステイ、市内外の案内等をしていただきます。

＜技術支援ボランティア＞

環境技術をお持ちの方で、海外研修生の受け入れのための研修コースの策定、研修生の受け入れ、途上国環境対策調査等をしていただきます。

会/員/募/集

現在の会員数

- ●個人　250 人
- ●法人団体　65 団体

宇部 IECA は会員の皆様の会費により運営されております。

会費は次のとおりです。

- ★個人会員　1口　1,000 円（年額）
- ★法人団体　1口　10,000 円（年額）
- ★何口でも可

宇部方式は、市民の皆様が積極的に参加するところにあります。「会員になって一緒に国際交流を行ってみませんか」と知人等へのお誘いをお願いします。

発行事務所 宇部IECA
宇部環境国際協力協会

〒755-0045
山口県宇部市中央町三丁目12番19号
オフィス OHI 201
TEL・FAX（0836）36-3199
E メール　info@ieca.biz
URL　http://www.ieca.biz